

第2期美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業に関する検証

令和4年度 美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する検証

第2期総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5ヶ年計画となっており、地方創生の実現に向けて3つの基本目標と4つの具体的な政策(プロジェクトM)を定め、重要業績評価指標(KPI)を設定しています。この3つの基本目標を達成するため、合計44事業を具体的な事業として設定しております。

今回、評価検証を行うための基礎資料として、「各課実践事業」ごとに評価を行いました。評価の状況としては、全実践事業42件のうち、実践済み(評価A～D)が40件で全体の約90%で、内、確実な効果を期待できるもの(評価A・B)が30件で全体の約68%であり、第2期の3年目としては概ね順調にそれぞれの施策が推進されています。D評価の2件については、廃止を含めた施策の見直しを検討していきます。

1. 各基本目標ごとの状況

内 容		5年後の数値目標	R4実績
基本目標①	家族と暮らし続けたいまちづくり	出生数を50人確保	18人
基本目標②	地域みんなで支えるまちづくり	地域で新たに移住者を30人確保	29人
基本目標③	「会える」がたくさんのまちづくり	観光入込客を年間22万人確保	134,851人
今後の展開			
引き続き、保健・教育・福祉等関係機関や地域の子育て支援団体等との情報交換や連携を行い、結婚、出産を含めた子育て支援の充実を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた仕組みづくりを行う。			
①			
「地区別定住戦略(ちくせん)」の実践に対し、地区に寄り添った支援を行いながら、切れ目ない支援体制の構築を検討する。また、引き続き、きめ細かな移住・定住相談と起業・事業承継支援を行うとともに、空家バンクの拡充や住宅等の整備による移住・定住環境の充実を図る。			
②			
全国的に移住に対する機運が高まりを見せる中、新たな体験型マイクロツーリズム事業の造成や、さらなる情報発信の充実を図る。また、観光事業とちくせん事業による各地区の取組の連携・推進による、関係人口及び交流人口の増加を図る。			
③			

2. 各課実践事業の評価基準

評 価	評価基準	評価施策数
A	着実に実践され、大きな効果が期待される。	11
B	概ね実践され、効果が期待される。	19
C	実践されるが、効果が出るのはまだ早い。引き続き実践する。	8
D	実践されるが、効果の見込みなし。(廃止も含め検討)	2
E	事業未実施。(R4に予定していたが、実践できなかった)	1
F	事業未実施。(R5以降に実践する事業)	3
計		44

3. 実践事業(プロジェクトM)ごとの評価

項 目		主管課	事 業 名		評 価
1	子育て支援	町民生活課	1	子育て支援センター開設	B
			2	預かり保育時間延長	F
			3	保育所ごはん補完計画	A
			4	病児保育施設の設置	F
			5	ウッドスタート	B
			6	出産祝い金の支給	A
			7	出生届(写し)ステッカープレゼント	B
			8	保育使用料の軽減	A
			9	子ども医療費の無料化	A
		健康福祉課	10	子育て相談窓口の設置	C
			11	育児相談事業	B
			12	不妊治療費助成	B
		教 育 課	13	子ども(乳幼児含)が「育つ」居場所創設事業	B
			14	美郷探検隊事業と家庭教育推進大会の開催	C
			15	生涯学習推進事業「生涯学習人材バンク」	B
			16	給食費無償化	A
		政策推進室	17	婚活支援の充実	D
まちづくり懇話会での提案・意見(抜粋)		・病児保育は、まずは病後児保育から検討してほしい。 ・保育料の軽減と子ども医療費の無料化は大変助かる。継続を望む。 ・保育所職員の人材確保にインターン制度等を活用できないか。 ・人材バンクに資格や特技を持つ移住者の情報も入れてはどうか。 ・婚活支援にマッチングアプリの活用を検討してはどうか。			
2	地域づくり	企画情報課	18	地区別戦略の策定・実施	B
			19	観光アプリの開発	B
			20	新規観光(体験)ツアー事業	B
			21	美郷町総合PR事業(企業版ふるさと納税)	A
		教 育 課	22	地域スポーツ活動の推進	C
			23	町立図書館wi-fi計画	A
		総 務 課	24	美郷町救急救命業務委託	A
		まちづくり懇話会での提案・意見(抜粋)		・ちくせんは非常にがんばっている。活動状況のPRをもっと活発にすると良い。 ・ちくせんの補助事業終了後の支援体制が不透明である。 ・スポーツ指導者の研修や資格取得の支援をしてほしい。 ・観光スポットの周辺整備は地区も協力して実施すると良い。	

項 目		主管課	事 業 名		評 価
3	しごとづくり	企画情報課	25	ゼロ円起業	B
			26	新規事業進出支援(飲食店限定)	B
		農林振興課	27	美さぼーと事業(地域おこし協力隊)	B
			28	新規就農・担い手対策事業	B
			29	山村雇用確保・森林整備事業	B
			30	山村雇用・森林整備人材育成	C
		政策推進室	31	宮崎ひなた暮らしUIJターン支援事業	B
			32	産地型商社の設置	A
			33	美郷町職業紹介所事業	C
		まちづくり懇話会 での提案・意見 (抜粋)	・起業支援事業は商工業活性化に非常に効果が出ている。評価はAで良い。 ・果樹の新規就農時の未収期間の支援を希望する。 ・農林業分野の更なる事業承継対策と担い手対策が必要である。 ・移住支援を推すのであれば支援金の増額が必要ではないか。		
4	移住・定住支援	建 設 課	34	定住促進住宅の整備	D
			35	単身住宅の整備(アパートタイプ)	A
			36	既存住宅の整備(リフォーム)	A
			37	町による計画的な分譲地の造成	F
		健康福祉課	38	高齢者用住宅の整備	C
		政策推進室	39	空き家サブリースでの住宅整備	C
			40	移住支援員の設置	C
			41	美郷アエルCafeの開催	E
			42	移住相談窓口の設置	B
			43	移住体験の実施	B
			44	空家バンク事業	B
		まちづくり懇話会 での提案・意見 (抜粋)	・機械を保有する林業従事者は、倉庫がある住宅が住みやすい。 ・移住相談窓口の「オーダーメイドの移住相談」が非常に良い。 ・木造建築支援をもっと手厚くしたら良い。 ・古民家のブームもあり、空家バンク登録へ積極的に働きかけてほしい。		

第2期
美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

プロジェクトM
(実践事業)

令和 2年 3月策定

令和 3年 9月改訂

令和 4年12月改訂

M	No.	事業名	担当課	頁
子育て支援	1	子育て支援センターの開設	町民生活課	6
	2	預かり保育時間延長	町民生活課	6
	3	保育所ごはん補完計画	町民生活課	7
	4	病児保育（新規）	町民生活課	7
	5	ウッドスタート	町民生活課	8
	6	出産祝い金の支給	町民生活課	8
	7	出生届（写し）ステッカープレゼント	町民生活課	9
	8	保育使用料の軽減	町民生活課	9
	9	子ども医療費の無料化	町民生活課	10
	10	子育て相談窓口の設置	健康福祉課	10
	11	育児相談事業	健康福祉課	11
	12	不妊治療費助成	健康福祉課	11
	13	子育て支援事業 ①子ども（乳幼児含）が「育つ」居場所創設事業	教 育 課	12
	14	子育て支援事業 ②ふるさと美郷を知る「美郷探検隊事業」と家庭教育推進大会の開催	教 育 課	12
	15	生涯学習推進事業 「生涯学習人材バンク」	教 育 課	13
	16	給食費無償化	教 育 課	13
	17	婚活支援事業の開催	政策推進室	14
地域づくり	18	地区別戦略の策定・実施	企画情報課	15
	19	観光アプリの開発	企画情報課	15
	20	新規観光（体験）ツアー事業	企画情報課	16
	21	【企業版ふるさと納税】美郷町PR事業	企画情報課	16
	22	子育て支援事業 ③地域スポーツ活動の推進	教 育 課	17
	23	子育て支援事業 ④町立図書館wi-fi計画	教 育 課	17
	24	美郷町救急救命業務委託	総 務 課	18
しごとづくり	25	ゼロ円起業	企画情報課	19
	26	【飲食店限定】新規事業進出支援	企画情報課	19
	27	【地域おこし協力隊】美さぽーと事業	農林振興課	20
	28	新規就農・担い手対策事業	農林振興課	20
	29	山村雇用確保・森林整備	農林振興課	21
	30	山村雇用・森林整備人材育成	農林振興課	22
	31	宮崎ひなた暮らしUIJターン支援事業	政策推進室	22
	32	産地型商社の設置	政策推進室	23
	33	美郷町職業紹介所事業	政策推進室	23
移住・定住支援	34	定住促進住宅の整備	建 設 課	24
	35	単身住宅（アパートタイプ）の整備	建 設 課	24
	36	既存住宅の整備（リフォーム）	建 設 課	25
	37	町による計画的な分譲地の造成	建 設 課	25
	38	高齢者用住宅の整備	健康福祉課	26
	39	空き家サブリースでの住宅整備	政策推進室	26
	40	移住支援員の設置	政策推進室	27
	41	美郷アエルCafeの開催	政策推進室	27
	42	移住相談窓口の設置	政策推進室	28
	43	移住体験の実施	政策推進室	28
	44	空家バンク事業	政策推進室	29

No.	1	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	子育て支援センターの開設				
事業の概要	子育て支援センターは、主に乳幼児の子どもと子どもを持つ親が交流を深める場であり、気軽に遊びに行くことができますし、同じような境遇の親子で交流を通して子育てについての不安や悩みも相談することができる。 今後、町民生活課と健康福祉課が軸となり開設に向けて協議を始める。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに1施設				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3	開設準備・運営費	80	1施設	C:効果まだ、継続実践
	R4	運営費	30	1施設	B:概ね実践、効果期待
	R5	運営費	100		
	R6	運営費	100		
		合 計	310	1施設	
R4実績 及び R5以降計画	令和3年度10月に西郷ニューホープセンター内に開設。参加者数、業務従事者などの現状から、当初期待した効果があるのか検討する必要がある。社協(保育所)も同様の取組の検討をしていることから、社協との協働も検討する。 令和4年度については開設日15日。コロナウイルス感染拡大防止のための閉所日は7日あった。利用者は延べ132人であった。				
備 考					

No.	2	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	預かり保育時間延長				
事業の概要	(概要)各保育所での預かり保育を18時30分まで実施する。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに3施設				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3		0		F:次年度以降計画
	R4	社協委託料への増加額相当分	0		F:次年度以降計画
	R5	社協委託料への増加額相当分	0		
	R6	社協委託料への増加額相当分	0		
		合 計	0		
R4実績 及び R5以降計画	3施設とも平日の延長保育に対しては特に保護者からの要望はないので、現行の開設時間(7:30~18:00)におけるスタッフの確保・配置を安定させ、保育の充実に努める。また、従来から実施している土曜預かりが浸透していない、利用しにくいとの声があったため土曜預かりの浸透を図る。				
備 考					

No.	3	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	保育所ごはん補完計画				
事業の概要	(概要)現在3歳以上については主食を持参しているが、完全給食を実施するために地元の農家と契約し、お米を確保し提供する。 (目的)子育て世代へのサービス向上(地域との関わりの深化)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1施設				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	1施設	B:概ね実践、効果期待
	R3		0	1施設	A:実践済、効果期待大
	R4	社協委託料への増加額相当分	200	1施設	A:実践済、効果期待大
	R5	社協委託料への増加額相当分	200		
	R6	社協委託料への増加額相当分	200		
		合 計	600	1施設	
R4実績 及び R5以降計画	計画策定当時は、みかど保育所のみ3歳児以上は米飯を持参していた(他の保育所は完全給食を実施済み)ので、KPIはみかど保育所の1施設にしていたが、令和2年度に完全給食を開始した。 食育、農家さんのやりがい等につながるよう米、野菜等の食材の購入先を開拓するなど地産地消への取り組みを図る。				
備 考					

No.	4	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	病児保育(新規)				
事業の概要	(概要)美郷町の基幹病院である西郷病院付近に、病児保育施設を設置する。これにより病氣と診断された児童および病後児の保育を行う。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1施設				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F:次年度以降計画
	R3		0		F:次年度以降計画
	R4	病児保育等設計委託料 等	0		F:次年度以降計画
	R5	病児保育棟建築・監理料 等	0		
	R6	運営費	0		
		合 計	0		
R4実績 及び R5以降計画	医療局との協議で小児科医がいないと責任を持った対応ができないとの回答を得たので、検討を中断している。しかし、今後小児科が開設されない場合に、関係機関(JAMS等)との連携による開設の可否については引き続き検討していく。また、町外の施設を利用した場合の助成制度を検討する。				
備 考					

No.	5	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	ウッドスタート				
事業の概要	(概要) 1歳6ヶ月検診の際に地元の木材を使った木製の食器等をプレゼント((前)積み木のプレゼント)。※林業センター、林業大学校と連携し地元製材所等を活用 (目的) 子育て世代へのサービスの向上(地元との関わりの深化)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	20人	F: 次年度以降計画
	R3	記念品 10千円×13人	127	25人	B: 概ね実践、効果期待
	R4	記念品 10千円×20人	88	18人	B: 概ね実践、効果期待
	R5	記念品 10千円×20人	200		
	R6	記念品 10千円×20人	200		
		合 計	615	18人	
R4実績 及び R5以降計画	農林振興課で同様の事業を行うため、当該事業は廃止し他の事業を検討する。 令和6年3月31日まで受付を行い、令和6年度は受け渡しのみ行う。				
備 考					

No.	6	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	出産祝い金の支給				
事業の概要	「出産奨励祝い金」支給し、出生に対する町からの御祝のメッセージを発信する。(1・2子目30千円、3子目100千円)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		1,090	20人	A: 実践済、効果期待大
	R3	第1・2子×17人、第3子×8人	1,310	25人	A: 実践済、効果期待大
	R4	第1・2子×15人、第3子×5人	860	18人	A: 実践済、効果期待大
	R5	第1・2子×15人、第3子×5人	950		
	R6	第1・2子×15人、第3子×5人	950		
		合 計	5,160	18人	
R4実績 及び R5以降計画	今後引き続き実施していく。				
備 考					

No.	7	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	出生届(写し)ステッカープレゼント				
事業の概要	(概要)出生届提出時にその写しと美郷町オリジナルステッカー(baby in car)をプレゼントする。 (目的)子育て世代へのサービスの向上				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間出生数30人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	20人	F:次年度以降計画
	R3	出生届入・ステッカー各500部	191	25人	C:効果まだ、継続実践
	R4		0	18人	B:概ね実践、効果期待
	R5		0		
	R6		0		
	合 計		191	18人	
R4実績 及び R5以降計画	出生届のあった際に配布している。				
備 考					

No.	8	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	町民生活課
事業名	保育使用料の軽減				
事業の概要	第2子及び第3子以降の保育使用料について、国の基準では長子の幼稚園卒園まで、第2子50%及び第3子100%軽減であるが、これを長子の幼稚園卒園後も適用する。				
重要業績評価指標(KPI)	保育児童の第2・第3子				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	国基準と町基準の差額相当分	7,311	13人	A:実践済、効果期待大
	R3	国基準と町基準の差額相当分	8,742	18人	A:実践済、効果期待大
	R4	国基準と町基準の差額相当分	8,923	49人	A:実践済、効果期待大
	R5	国基準と町基準の差額相当分	8,900		
	R6	国基準と町基準の差額相当分	8,900		
	合 計		42,776	80人	
R4実績 及び R5以降計画	昨年度実施したアンケートでは続けて欲しい施策第2位(51.0%)であり、子育て世帯への支援策としては必要なものであるため計画通り継続する。				
備 考					

No.	9	プロジェクトM	子育て支援	担当課	町民生活課
事業名	子ども医療費の無料化				
事業の概要	(概要)中学生以下の医療費完全無料 (目的)子育て世代の金銭的負担軽減				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに医療費完全無料				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	乳幼児・子ども医療費助成金	7,225	月350円・千円負担	F:次年度以降計画
	R3	乳幼児・子ども医療費助成金	9,284	完全無料	A:実践済、効果期待大
	R4	乳幼児・子ども医療費助成金	9,110	完全無料	A:実践済、効果期待大
	R5	乳幼児・子ども医療費助成金	9,806		
	R6	乳幼児・子ども医療費助成金	10,500		
		合 計	45,925	完全無料	
R4実績 及び R5以降計画	計画では令和4年度から完全無料化の予定であったが、令和3年9月に条例を改正し同年10月から実施した。昨年度実施したアンケートでは続けて欲しい施策第1位(81.6%)であり、子育て世帯への支援策としてだけでなく、低所得世帯への扶助としても欠かせないため計画通り継続する。				
備 考					

No.	10	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	子育て相談窓口の設置				
事業の概要	各課横断的になっている相談窓口について、「子育て相談窓口」の専用窓口を設置する。また、育児中や仕事中でも、自宅や職場などから気軽に相談出来る専用回線を設置する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間相談件数30件				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	内容の検討	0	0件	F:次年度以降計画
	R3	内容の検討	0	0件	F:次年度以降計画
	R4	子育て支援センターで実施	0	0件	C:効果まだ、継続実践
	R5	子育て支援センターで実施	0		
	R6	子育て支援センターで実施	0		
		合 計	0	0件	
R4実績 及び R5以降計画	R4年度は、子育て支援センターで実施したが、国がR6年度までに「こども家庭センター」(全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関)の設置を市町村に義務づける方向で動いているため、それを考慮しながら設置を検討したい。				
備 考					

No.	11	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	育児相談事業				
事業の概要	子育て支援センター開所時に育児相談を実施する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間相談件数10件				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	乳幼児健診時に実施	0	0件	D:効果なし(廃止も検討)
	R3	乳幼児健診時に実施・実施方法等検討	0	0件	C:効果まだ、継続実践
	R4	子育て支援センターで実施	0	66件	B:概ね実践、効果期待
	R5	子育て支援センターで実施	0		
	R6	子育て支援センターで実施	0		
		合 計	0	66件	
R4実績 及び R5以降計画	子育て支援センターは内容を決めて実施しており、その内容のなかに育児相談を入れていないが、子育て支援センター活動中や前後の時間において、保護者の方に声をかけたりして話をしている。保護者同士の話の中で、相談している様子も伺える。 R5年度以降も継続予定。				
備 考					

No.	12	プロジェクトM	子育て支援	担当課	健康福祉課
事業名	不妊治療費助成				
事業の概要	不妊治療を受けている夫婦に対し、費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図り少子化対策の推進を行う。				
重要業績評価指標(KPI)	年間助成件数6件				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	一般(2件)、特定(4件) 2件出産	588	6件	B:概ね実践、効果期待
	R3	一般(1件)、特定(6件)	726	7件	B:概ね実践、効果期待
	R4	一般(1件)、特定(3件) 1件出産	917	4件	B:概ね実践、効果期待
	R5	一般(2件)、特定(6件)	1,100		
	R6	一般(2件)、特定(6件)	1,100		
		合 計	4,431	4件	
R4実績 及び R5以降計画	不妊治療の保険適応が開始されたことで、県が行っていた一般・特定不妊治療の助成がなくなり、R4.10月から不妊原因を調べるための検査費の全額補助する市町村に対し県からの補助が開始。町として、不妊原因を調べるための検査に5万円を上限に助成し今までの一般・特定不妊治療の助成は継続。				
備 考					

No.	13	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	教育課
事業名	子育て支援事業 ①子ども(乳幼児含)が「育つ」居場所創設事業				
事業の概要	これまで実施してきた保護者のための「子育て支援事業」ではなく、子どもを中心に据え、その子の「育ち」を支援する「子育て支援事業」の展開を図る。乳幼児や小学生低学年世帯には、各家庭ごとの「家庭の日(親子の日)」を提唱し、図書館を活用したふれあいの場の提供を行う。学校放課後や長期休業中の「放課後児童育成事業」も図書館施設を活用し「本」による子どもの育ちを支援する。活動サポーターと図書館職員の連携。西郷図書館「子育て支援センター」と連携。				
重要業績評価指標(KPI)	西郷図書館12,000人(現:8800人)、北郷図書館4,500人(現:3,000人)、南郷図書館4,200人(現:2,800人)、合計20,700人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	ニーズ調査・事業計画	0	8,854人	A: 実践済、効果期待大
	R3	「親の育ち支援事業」親子3組	40	7,613人	B: 概ね実践、効果期待
	R4	子育て支援センターへ移行	0	8,772人	B: 概ね実践、効果期待
	R5	子育て支援センターへ移行	0		
	R6	子育て支援センターへ移行	0		
		合 計	40	8,772人	
R4実績 及び R5以降計画		令和3年度に町婦人会で町婦人会結成15周年事業で開始したが、令和4年度から町民生活課の「子育て支援センター」に移行した。			
備 考					

No.	14	プロジェクトM	子育て支援	担 当 課	教育課
事業名	子育て支援事業 ②ふるさと美郷を知る「美郷探検隊事業」と家庭教育推進大会の開催				
事業の概要	本町の恵まれた環境と人を最大限に活用し、自然体験や社会体験を通して将来観・未来観・職業観を育成し主体的に生きていくことのできる資質や能力を育成し、その子の「育ち」を支援する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間参加者300人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	家庭教育推進大会100名	100	きらら放送※コロナ禍	C: 効果まだ、継続実践
	R3	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	481	きらら放送※コロナ禍	C: 効果まだ、継続実践
	R4	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	50	きらら放送※コロナ禍	C: 効果まだ、継続実践
	R5	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	481		
	R6	美郷探検隊50名・家庭教育推進大会80名	481		
		合 計	1,593		
R4実績 及び R5以降計画		美郷探検隊は「お仕事体験」を学校ごとに実施。家庭教育推進大会については、「足育」の講師と打ち合わせも終了し、昨年度に引き続き学級生に広く届けるため、オンデマンドで開催した。令和5年度は美郷探検隊「お仕事体験」、「ミステリーツアー」を実施。家庭教育推進大会は「タッチセラピー(化粧療法)」を予定。			
備 考					

No.	15	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	生涯学習推進事業「生涯学習人材バンク」				
事業の概要	地域人材を活用した生涯学習講座(竹細工やさげ飾り等)は実施している。さらに広く情報収集を行い「美郷町生涯学習人材バンク」をまとめ情報発信していく。現在発行している「あなたの生涯学習応援します」に「美郷町生涯学習人材バンク」を追加記載。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に、年間利用者100名				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	人材の発掘・ニーズ調査	0	0	B:概ね実践、効果期待
	R3	人材の発掘・名簿作成	0	0	B:概ね実践、効果期待
	R4	人材バンク冊子の作成	49	25人	B:概ね実践、効果期待
	R5	人材バンク冊子の活用	0		
	R6	人材バンク冊子の活用	0		
		合 計	49	25人	
R4実績 及び R5以降計画	「美郷町生涯学習人材バンク No.1」を各学校、図書館、役場(支所)、公民館等へ配布し、生涯学習の充実と振興を図った。今後も新たな人材の発掘に努め、No.2(追加版)の発行を行う。				
備 考					

No.	16	プロジェクトM	子育て支援	担当課	教育課
事業名	給食費無償化				
事業の概要	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童生徒に対し給食費の全額助成を行い子育てに対する経済的援助を行う。				
重要業績評価指標(KPI)	令和2年度開始				
5ヶ年計画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	園児・児童・生徒 約330名	17,672	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R3	園児・児童・生徒 約320名	16,452	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R4	園児・児童・生徒 約310名	16,421	給食費無償化	A:実践済、効果期待大
	R5	園児・児童・生徒 約310名	15,000		
	R6	園児・児童・生徒 約310名	15,000		
		合 計	80,545	給食費無償化	
R4実績 及び R5以降計画	給食食材費の全額町負担と県の補助事業等を活用することで給食費を無償化している。 (令和2年度から実施)				
備 考					

No.	17	プロジェクトM	子育て支援	担当課	政策推進室
事業名	婚活支援事業の開催				
事業の概要	結婚を望む町内独身者の出会いの創出・支援のため、町の特性を生かした婚活イベントを開催する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までにマッチング成立10組				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	婚活支援事業補助金	56	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R3	予算化事業なし	0	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R4	予算化事業なし	0	0組	D:効果なし(廃止も検討)
	R5	予算化事業なし	0		
	R6	予算化事業なし	0		
	合 計		56	0組	
R4実績 及び R5以降計画	以前は「みさ婚」というグループお見合い型の婚活事業をしていたが、町内男性の参加が非常に少ないなど時代にそぐわなくなっている。現在はマッチングアプリや結婚相談所を活用するなど、自分のペースでの出会いが求められている。 令和4年10月9日に町内施設を会場にして「みやざき結婚サポートセンター出張窓口事業(県こども政策課)」を実施しており、次年度以降も実施予定である。				
備 考					

No.	18	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	企画情報課
事業名	地区別戦略の策定・実施				
事業の概要	町内24行政区全ての人口を分析し、地域の課題を解決するため、行政区単位での戦略策定を推進する。 【提案事業】ハード事業、ソフト事業ともに可とする。 【条件】①地域の人口減少に歯止めをかけるための事業。(人口減少対策) ②地域の課題解決を図る事業(地域課題解決) ③地域の交流・関係人口の増加を促進する事業(交流・関係人口増加)				
重要業績評価指標(KPI)	・令和4年度末までに24地行政区が計画を策定 ・令和5年度末までに24行政区が事業を開始				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	6地区策定準備	6,210	策定準備	B:概ね実践、効果期待
	R3	5地区+8地区策定	12,496	13地区策定	B:概ね実践、効果期待
	R4	11地区策定+13地区事業実施	37,427	11地区策定・13地区実施	B:概ね実践、効果期待
	R5	24地区事業実施	67,508		
	R6	24地区事業実施	100,576		
		合 計	224,217	11地区策定・13地区実施	
R4実績 及び R5以降計画	R4年度は、計画どおりに11地区がワークショップを重ねながら計画を策定し、前年度に計画を策定した13地区は、それぞれの計画に基づき実践事業を行った。また、各地区情報発信事業として、1分間動画・ポスター・暮らしの手引きの制作も行った。 R5年度からは、全24地区が実践事業を展開していく。事業費については、地方創生推進交付金に申請している交付対象事業経費を計上。(変更あり)				
備 考					

No.	19	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	企画情報課
事業名	観光アプリの開発				
事業の概要	スマートフォンやタブレット端末の普及により、ガイドマップを片手に観光地を巡る時代から、端末一つで記念撮影から観光施設や特産品情報などを閲覧できる時代に移行し、観光ガイドアプリの需要は年々高まっていることから、観光客誘致、交流人口の増加を目的とした観光アプリを開発する。				
重要業績評価指標(KPI)	R6年度観光入込客:220,000人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	業務委託発注	5,916	108,122人	E:実施できなかった
	R3	開始(10月)		105,130人	C:効果まだ、継続実践
	R4	運用	0	134,851人	B:概ね実践、効果期待
	R5	運用	0		
	R6	運用	132		
		合 計	6,048	134,851人	
R4実績 及び R5以降計画	R4/4/1 正式運用開始 R4 新規地点登録【8箇所】 R4 新規コース登録【4コース】 R4 四半期ごとのポイントラリー【4回実施】 R4 ダウンロード実績【604 DL】 R5以降 新規地点登録・新規コース登録・ポイントラリー実施等				
備 考					

No.	20	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	企画情報課
事業名	新規観光(体験)ツアー事業				
事業の概要	本町の魅力発掘のための観光(体験)ツアーを、新たに企画する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に年間10件				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	9件	C:効果まだ、継続実践
	R3	ツアー実施(年5回)	0	22件	B:概ね実践、効果期待
	R4	ツアー実施(年10回)	0	21件	B:概ね実践、効果期待
	R5	ツアー実施(年10回)	0		
	R6	ツアー実施(年10回)	0		
		合 計	0	21件	
R4実績 及び R5以降計画	【R4実績】企画 21個 ・ 実施 11個 ※定期又は随時募集しているツアーの数 11(美郷町観光協会ホームページより) 【R5計画】企画 20個 ・ 実施 10個 ※上記企画には、新規ツアー造成が3個、随時募集ツアーの造成が1個、定期開催ツアーの入れ替えが1個含まれている。				
備 考					

No.	21	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	企画情報課
事業名	【企業版ふるさと納税】美郷町PR事業				
事業の概要	企業版ふるさと納税制度を活用しながら「西の正倉院みさと文学賞」を実施し、百済王族伝説や美郷町から連想されるテーマに則した小説を募集する。応募のあった作品は審査を行い、大賞ほか数作品を選出し、受賞した数作品をまとめた単行本を出版やラジオドラマ化としての放送、そして最終的には映像化することにより、「百済王族伝説」という観光資源の周知を図るとともに、百済の里づくりの取組を知らない世代に対しても、文学という視点からアプローチを行い、「百済王族伝説」、「西の正倉院」、ひいては美郷町の認知度、情報接触度を高めることで観光客の誘致を図る。				
重要業績評価指標(KPI)	R6年度観光入込客:220,000人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	みさと文学賞、町PRパンフ	15,963	108,122人	A:実践済、効果期待大
	R3	みさと文学賞	20,699	105,130人	A:実践済、効果期待大
	R4	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	21,061 1,408	134,851人	A:実践済、効果期待大
	R5	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	10,116 1,727		
	R6	みさと文学賞 季刊誌(年2回)	66,000 1,700		
		合 計	138,674	134,851人	
R4実績 及び R5以降計画	美郷町を連想されるものをテーマにジャンルを問わず募集し、全国59作品の応募の中から9作品を入賞作品として選出。コロナ禍でオンライン開催となっていた贈賞式を4年ぶりにリアルで実施。入賞作品をまとめた単行本1,500部の出版のほか、過去入賞したラジオドラマ化を行った。今後も観光資源を活かして地域の魅力発信に繋げ、町の認知度や情報接触度を高めることで観光客の誘致を図る。				
備 考					

No.	22	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	教育課
事 業 名	子育て支援事業 ③地域スポーツ活動の推進				
事業の概要	学校部活動の活性化による地域スポーツ活動の振興を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度に、年間参加者6,600人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	ニーズ調査・県からの訪問	0	4,768人	C: 効果まだ、継続実践
	R3	現況調査、各団体・保護者との調整協議	0	4,784人	C: 効果まだ、継続実践
	R4	各団体・保護者との調整・協議	0	4,344人	C: 効果まだ、継続実践
	R5	調査・協議	0		
	R6	調査・協議	0		
合 計			0	4,344人	
R4実績 及び R5以降計画	当初は「総合型スポーツクラブの設立」によるスポーツ環境の整備が目標であったが、令和5年度からの部活動の段階的な地域移行の開始を機に、総合型スポーツクラブに部活動を組み込むのではなく、部活動を中心に施設の充実化も図る形態での地域スポーツ活動推進事業へと転換した。また、課題であった部活動の団体競技について、令和5年度から西郷義務教育学校が野球部を再結成させ美郷南学園と合同チームとなり活動している。今後、部活動の段階的な地域移行を含め他の競技も検討していくことになる。				
備 考					

No.	23	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	教育課
事 業 名	子育て支援事業 ④町立図書館wi-fi計画				
事業の概要	町立図書館の学習室をFree wi-fiスポットとすることで施設の利用促進を図る。(図書館職員やボランティアによる乳幼児への「絵本情操教育」の展開を目指す。) 育児と在宅ワークを両立することで親としての資質の向上と子どものキャリア教育の醸成、また収益を得ながら子育てができることでIUターン者の増加につながることが期待される。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに3ヶ所設置				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	西郷図書館・南郷図書館Wi-Fi設置	265	2ヶ所	A: 実践済、効果期待大
	R3		0	2ヶ所	A: 実践済、効果期待大
	R4	北郷図書館Wi-Fi設置	155	3ヶ所	A: 実践済、効果期待大
	R5		0		
	R6		0		
合 計			420	3ヶ所	
R4実績 及び R5以降計画	北郷図書館読み聞かせ室の照明LED化が終了し、Wi-Fi設置を完了した。今後さらなる利便性の向上を図る。				
備 考					

No.	24	プロジェクトM	地域づくり	担 当 課	総務課
事 業 名	美郷町救急救命業務委託				
事業の概要	町内における救急要請及び病院、診療所からの転院搬送要請に係る救急搬送業務体制を整備し、迅速な対応を可能とすることにより、公共サービスに寄与する。 (1) 救急搬送業務、(2) 病院間移送業務、(3) 搬送車両の始業前、使用後、終業後の点検及び資機材の点検・補充、(4) 使用通信機(携帯電話)の状態確認				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度に救急体制に関する住民満足度65%				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	救急救命業務	110,110		※R3から追加
	R3	救急救命業務	114,800	最終年度調査	A:実践済、効果期待大
	R4	救急救命業務	117,480	最終年度調査	A:実践済、効果期待大
	R5	救急救命業務	120,000	最終年度調査	
	R6	救急救命業務	122,500	調査実施予定	
	合 計		584,890		
R4実績 及び R5以降計画	R4年度も継続して全ての救急要請について救急救命業務が行える体制をとった。 今後も本町の救命率の向上を目的として、継続して救急救命業務を実施する。				
備 考					

No.	25	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	企画情報課
事 業 名	ゼロ円起業				
事業の概要	移住定住担当や商工会等と連携しながら、無償で起業までの相談対応、経営や法令等の助言・指導、起業後のフォローを行う。また、事業承継・引継ぎの支援や既存事業者の新事業展開の支援も行う。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに起業・事業承継14事業者				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	相談等 3件、起業・承継3件	0	3事業者	F: 次年度以降計画
	R3	相談等19件、起業・承継5件	0	5事業者	F: 次年度以降計画
	R4	相談等8件、起業3件・承継1件	0	4事業者	B: 概ね実践、効果期待
	R5	// 2件	0		
	R6	// 2件	0		
		合 計	0	12事業者	
R4実績 及び R5以降計画	【R4】 起業相談 7件 事業承継相談 1件 【R5】 起業支援、事業承継支援を継続実施。				
備 考					

No.	26	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	企画情報課
事 業 名	【飲食店限定】新規事業進出支援				
事業の概要	平日・土日に利用できる飲食店の新規オープンし、地元住民、観光客等からの要望に応える。特に若者や家族連れが気軽に利用できるカフェ等の誘致を目的とする。 ※美郷町商工業振興サポート事業補助金への補助上乘せ サポート補助金(上限:新規1,000千円)+1,000千円(飲食業枠)				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに3事業者				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	サポート事業補助金 0件	0		F: 次年度以降計画
	R3	// 1件(ラーメン店)	935	1事業者	F: 次年度以降計画
	R4	// 2件(そば屋、焼き肉屋)	2,779	2事業者	B: 概ね実践、効果期待
	R5	// 2件	4,000		
	R6	// 2件	4,000		
		合 計	11,714	3事業者	
R4実績 及び R5以降計画	【R4】 事業承継(飲食店)1件 新規起業(飲食店)1件 【R5】 新規起業(飲食店)1件 ※補助事業継続予定				
備 考					

No.	27	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事 業 名	【地域おこし協力隊】美さぼーと事業				
事業の概要	「地域おこし協力隊制度」を活用したこの就農サポート事業では、主軸となる基盤農場で就農しながら、様々な品目の農業を体験することができる。 就農する品目を決定したあとは、農地の確保や青年等就農計画を作成し、認定新規就農者として農業制度資金を活用、自営就農となる流れ、移住者の定着につなげる狙い。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに5名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	地域おこし協力隊 1名	1,239	1名	C: 効果まだ、継続実践
	R3	地域おこし協力隊 2名	5,784	2名	C: 効果まだ、継続実践
	R4	地域おこし協力隊 1名	3,409	1名	B: 概ね実践、効果期待
	R5	地域おこし協力隊 3名	13,908		
	R6	地域おこし協力隊 3名	13,908		
		合 計	38,248	4名	
R4実績 及び R5以降計画		R4: 有機農業協力隊員1名の雇用を継続中(～R5)。きんかん・栗栽培隊員を募集中。 R5以降: きんかん・栗栽培隊員を毎年1名新たに採用したい。			
備 考					

No.	28	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事 業 名	新規就農・担い手対策事業				
事業の概要	(新規就農給付金) 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、給付金を給付することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (担い手対策事業) 産業の振興と地域の活性化を図るため、就農者に対する支援事業を実施することにより、就農者の育成・確保及び就農後の定着を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに10名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	新規就農者 1名	13,463	1名	B: 概ね実践、効果期待
	R3	新規就農者 1名	28,668	1名	B: 概ね実践、効果期待
	R4	新規就農者 1名	11,472	1名	B: 概ね実践、効果期待
	R5	新規就農者 2名	26,560		
	R6	新規就農者 2名	26,560		
		合 計	106,723	3名	
R4実績 及び R5以降計画		R4: 1名新規就農(ミニトマト) R5以降: 国・県の支援制度も活用しながら毎年2名の新規就農者の獲得を目指したい。			
備 考					

No.	29	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事業名	山村雇用確保・森林整備				
事業の概要	木材の価格下落により、多目的機能を有する森林が未整備の状態である山林が多い。山林の活性化のためにも森林整備に町が助成して森林所有者の負担軽減をすることにより、森林整備の促進を図る。また、林業従事者の仕事場の確保にも繋がり人口増加が見込まれる。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに50名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	社会保険等整備事業等	43,093	143名	B:概ね実践、効果期待
	R3	社会保険等整備事業等	44,289	131名	B:概ね実践、効果期待
	R4	社会保険等整備事業等	43,634	137名	B:概ね実践、効果期待
	R5	社会保険等整備事業等	75,390		
	R6	社会保険等整備事業等	75,390		
		合 計	281,796	150名	
R4実績 及び R5以降計画	※森林環境譲与税充当事業 令和4年度 実績 社会保険等整備事業 13,678千円 森林整備事業 29,956千円 (企業版ふるさと納税 19,300千円充当) 令和5年度 以降計画 ○企業版ふるさと納税も同額程度を見込む ○社会保険等整備事業については県の事業が終了したことから、県補助金へ森林環境譲与税を充当。 ○美郷町林業従事者酷暑手当を創出 林業事業者酷暑特別手当 12,175 千円(6月から9月の4ヶ月間) 社会保険等整備事業 28,882 千円(年間) 森林整備事業 32,805 千円(年間) 林業従事者 247名(H27国勢調査→314名(R2国勢調査)進捗率 100%(50名))				
備 考					

No.	30	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	農林振興課
事 業 名	山村雇用・森林整備人材育成				
事業の概要	みやざき林業大学校受講生へ、町から月額25千円の追加支援を行い、美郷町内で林業に従事できる環境をつくり、担い手の増加を図る(参考:国からの給付金は、月額129千円)。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに15名の育成				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	林業資格取得支援事業等	1,969	5名	B:概ね実践、効果期待
	R3	林業資格取得支援事業等	1,181	2名	B:概ね実践、効果期待
	R4	林業資格取得支援事業等	0	0名	C:効果まだ、継続実践
	R5	林業資格取得支援事業等	0		
	R6	林業資格取得支援事業等	0		
	合 計		3,150	6名	
R4実績 及び R5以降計画	※森林環境譲与税充当事業 令和4年度実績 0千円 令和5年度予算 0千円 <u>交付要綱の改正による(卒業後、町内の林業事業体に就職し、2年間林業に従事しようとするもの。→したものに改正)</u> 令和元年度2名→1名(町内在住) 令和2年度5名→4名(町内在住) 令和3年度2名→1名(町内在住) 現在町内在住者6名 町内事業所就職者 7名 進捗率46%(15名)				
備 考					

No.	31	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事 業 名	宮崎ひなた暮らしUIターン支援事業				
事業の概要	地域の人手不足を解消するために県外から移住してくる方に対し、移住支援金を支給する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに移住者2名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	移住世帯数 2世帯	1,600	4名	B:概ね実践、効果期待
	R3	移住世帯数 0世帯	0	0名	B:概ね実践、効果期待
	R4	移住世帯数 1世帯	1,000	6名	B:概ね実践、効果期待
	R5	移住世帯数 1世帯	1,000		
	R6	移住世帯数 1世帯	1,000		
	合 計		4,600	10名	
R4実績 及び R5以降計画	令和4年度 1世帯/1,000千円				
備 考					

No.	32	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事業名	産地型商社の設置				
事業の概要	地域内の農家、加工業者、直売所等が連携し、産地型商社を設立し、生産・加工・最終商品の販売に取り組むとともに、一貫したブランド戦略により、利益の最大化を図り、設備の機能強化による生産性の向上、周年雇用の実現、確かな需要に基づく効率的な農業生産といった好循環を図る。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに産地型商社1社				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	産地型商社設立準備	6,135	1社	A:実践済、効果期待大
	R3	産地型商社設置準備	735	1社	A:実践済、効果期待大
	R4		0	1社	A:実践済、効果期待大
	R5		0		
	R6		0		
合 計			6,870	1社	
R4実績 及び R5以降計画	令和3年3月22日 協定締結 令和3年4月14日 事務所設置 令和3年7月1日～ ふるさと納税・6次化推進業務を開始				
備 考					

No.	33	プロジェクトM	しごとづくり	担 当 課	政策推進室
事業名	美郷町職業紹介所事業				
事業の概要	町内外の求人情報を町民が手軽に入手できるようにすることで、町民の働く場を確保する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに紹介を受ける者100名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	無料職業紹介事業	0	4名	C:効果まだ、継続実践
	R3	無料職業紹介事業	0	17名	C:効果まだ、継続実践
	R4	無料職業紹介事業	0	0名	C:効果まだ、継続実践
	R5	無料職業紹介事業	0		
	R6	無料職業紹介事業	0		
合 計			0	21名	
R4実績 及び R5以降計画	現在、無料職業紹介所としての運用は行っていないが、「ハローワーク日向」及び「ふるさと宮崎人材バンク」の登録情報を町公式SNSで発信するとともに、求職者からの問い合わせにも対応している。				
備 考					

No.	34	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事 業 名	定住促進住宅の整備				
事業の概要	子育て世代の移住・定住を促進するため、若者定住促進住宅を整備する。(町内者も入居可能) 対象者: 中学校以下の子供を持つ世帯 3戸以上の入居希望があった時点で設計を行い、設計は入居希望者の要望を取入れ間取り等を決める。(後年度の無償譲渡も検討)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに4棟				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R3		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R4		0	0棟	D: 効果なし(廃止も検討)
	R5		0		
	R6	設計・整備(南郷地区②、北郷地区②)	73,000		
		合 計	73,000	0棟	
R4実績 及び R5以降計画	令和4年度及び令和5年度実施予定なし。(住宅建設費については国よりの補助金の補填を考えていたが、移住・定住促進のための住宅建設費の補助金はないため建設費は増大となる。また、現時点にて入居希望者も無い状況である。)				
備 考					

No.	35	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事 業 名	単身住宅(アパートタイプ)の整備				
事業の概要	若い世代用の住宅が不足していることから、低家賃(10,000円～15,000円)で入居できる単身者住宅(1ルームタイプ)を整備する。 入居条件: 18歳以上40歳未満の独身者 ※R4計画・実施: 1棟(10戸) 【参考】西米良: 2LDK、20,000円、1LK、7,000円)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに1棟(10戸)				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R3		0	0棟	F: 次年度以降計画
	R4	測量・設計・整備(南郷地区⑩)	87,660	1棟	A: 実践済、効果期待大
	R5	測量・設計・整備(南郷地区⑩)	62,778		
	R6		0		
		合 計	150,438	1棟	
R4実績 及び R5以降計画	南郷神門地区に、単身者用住宅1棟10戸建設を令和4年10月着工。令和5年6月完成 令和4年度 87,660千円 令和5年度 62,778千円(繰越)				
備 考					

No.	36	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	既存住宅の整備(リフォーム)				
事業の概要	「子育て世帯」に対応した、愛宕団地、川上迫住宅、和田住宅のリフォームを年次的に行い定住促進を図る。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに14戸				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	設計・整備(愛宕②、甲田①)	17,991	3戸	A:実践済、効果期待大
	R3	設計・整備(愛宕④、門田①)	50,064	5戸	A:実践済、効果期待大
	R4	設計・整備(愛宕③)	31,019	3戸	A:実践済、効果期待大
	R5	設計・整備(愛宕①、川上迫①、和田①)	36,500		
	R6		0		
		合 計	135,574	11戸	
R4実績 及び R5以降計画	令和4年度は物価上昇等により愛宕団地の改修工事を予定4戸より3戸にした。 令和5年度は予定通り愛宕団地1戸、川上迫団地1戸、和田団地1戸の改修予定。				
備 考					

No.	37	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	建設課
事業名	町による計画的な分譲地の造成				
事業の概要	町選定の用地を基本として計画的な宅地造成を行う。 (参考)H24宅地分譲候補地検討委員会選定(各地区3箇所 計9箇所) 西郷1団地3区画(H25整備:全区画購入済み) 北郷1団地2区画(購入者募集中)				
重要業績評価指標(KPI)	令和6月年度までに2区画				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0区画	F:次年度以降計画
	R3		0	0区画	F:次年度以降計画
	R4		0	0区画	F:次年度以降計画
	R5	測量・整備(西郷地区①)	24,471		
	R6	測量・整備(南郷地区①)	20,000		
		合 計	44,471	0区画	
R4実績 及び R5以降計画	令和5年度北郷芝原地区の整備を計画しているが、分譲地の公募に募集が来っていない状況である。状況次第で補正予算の対応としたい。令和5年度において、西郷迫内地区に分譲地を計画・実施。				
備 考					

No.	38	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	健康福祉課
事 業 名	高齢者用住宅の整備				
事業の概要	運転免許の返納等で移動困難な高齢者に対し、町の中心部での生活を希望する高齢者ニーズの調査を行い、高齢者住宅整備計画の基礎資料を作成する。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和5年度までに希望調査を取り纏め、建設課へ伝達する。				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		※R4追加
	R3		0		※R4追加
	R4	協議	0	協議	C:効果まだ、継続実践
	R5	協議、調査	0		
	R6	計画	0		
		合 計	0		
R4実績 及び R5以降計画	現在ニーズの調査・把握中。 ニーズが把握でき次第、建設場所を含め来年以降計画を策定する。				
備 考					

No.	39	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事 業 名	空き家サブリースでの住宅整備				
事業の概要	町内の空き家を町が10年間借受け、町の負担でリフォームし、移住希望者へ町営住宅として貸付けを行う。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに5戸				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		※R4追加
	R3		0		※R4追加
	R4	選定・整備①	6,324	1戸	C:効果まだ、継続実践
	R5	選定・整備②	15,200		
	R6	選定・整備②	10,000		
		合 計	31,524	1戸	
R4実績 及び R5以降計画	令和4年度サブリース1件整備。 令和5年度においては2件整備予定であるが物件の申込状況では1件になる可能性あり。				
備 考					

No.	40	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事 業 名	移住支援員の設置				
事業の概要	移住を希望する方に、きめ細かな対応を行うとともに、空家等情報バンクへの登録を支援するため、町内の各地域に移住支援員を配置する。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6月年度までに5世帯				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0		F: 次年度以降計画
	R3		0		F: 次年度以降計画
	R4		0	1世帯	C: 効果まだ、継続実践
	R5		0		
	R6		0		
		合 計	0	1世帯	
R4実績 及び R5以降計画	令和4年度においては、各区ちくせん会議において、空家バンク登録等の説明を行った。 令和5年度以降も各区組織との連携を図りながら移住支援に取り組む方針である。				
備 考					

No.	41	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事 業 名	美郷アエルCafeの開催				
事業の概要	移住者は新しい仲間づくりの場が限られていることや、移住希望者は、町民や先輩移住者の話を聞く機会が限られていることから、住民が集い、繋がる仕組みづくりを行うことで地域への興味・関心が向上し、定住促進や地域の活性化を図る。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに参加者数250名				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2		0	0名	E: 実施できなかった
	R3		0	0名	E: 実施できなかった
	R4		0	0名	E: 実施できなかった
	R5	開催費用	10		
	R6	開催費用	10		
		合 計	20	0名	
R4実績 及び R5以降計画	飲食を伴う内容であり、新型コロナウイルスの感染状況(季節性インフルエンザの状況が見通せないことを含む)を踏まえて令和4年度は開催しなかった。				
備 考					

No.	42	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	移住相談窓口の設置				
事業の概要	相談窓口を設け、移住関連の情報提供や、関係機関・団地への取次ぎなどを円滑に実施するほか、移住に関する積極的なPRを行う。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに相談件数300件				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	移住相談(新規)	0	96件	B:概ね実践、効果期待
	R3	移住相談(新規)	0	172件	B:概ね実践、効果期待
	R4	移住相談(新規)	0	119件	B:概ね実践、効果期待
	R5	移住相談(新規)	0		
	R6	移住相談(新規)	0		
		合 計	0	387件	
R4実績 及び R5以降計画	政策推進室内に設置済み				
備 考					

No.	43	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事業名	移住体験の実施				
事業の概要	移住希望者に本町での暮らしを実感してもらい、移住・定住を促進するため、お試し滞在施設を運営する。				
重要業績評価指標(KPI)	令和6年度までに利用者400人日				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	お試し滞在運営費用及び負担金	1,290	177人日	B:概ね実践、効果期待
	R3	お試し滞在運営費用及び負担金	1,577	246人日	B:概ね実践、効果期待
	R4	お試し滞在運営費用及び負担金	1,414	771人日	B:概ね実践、効果期待
	R5	お試し滞在運営費用及び負担金	1,409		
	R6	お試し滞在運営費用及び負担金	1,409		
		合 計	7,099	771人日	
R4実績 及び R5以降計画	お試し滞在施設利用実績(R4年度) ・黒木の郷 23組、40人 (135泊・158日／延べ345人日) ・美郷と、16組、44人 (145泊・161日／延べ426人日)				
備 考					

No.	44	プロジェクトM	移住・定住支援	担 当 課	政策推進室
事 業 名	空家バンク事業				
事業の概要	空き家を利活用し、定住促進を図るため、空き家の情報提供を行う空家バンクを運営する。 空家バンクに登録された家屋を利活用するための経費の一部を補助する。				
重要業績評価指標 (KPI)	令和6年度までに、空家バンク登録件数25件、空き家バンク利用者35人				
5 ヶ 年 計 画	年度	事業内容(事業量)	事業費(千円)	実績	
				KPI	評価
	R2	家財道具撤去及び購入、リフォーム補助	12,822	登録25件、利用64人	B:概ね実践、効果期待
	R3	家財道具撤去及びリフォーム補助	2,824	登録19件、利用69人	B:概ね実践、効果期待
	R4	家財道具撤去及びリフォーム補助	5,258	登録19件、利用79人	B:概ね実践、効果期待
	R5	家財道具撤去及びリフォーム補助	3,400		
	R6	家財道具撤去及びリフォーム補助	3,400		
	合 計		27,704	登録19件、利用79人	
R4実績 及び R5以降計画	事業実績(R4年度) ・家財道具撤去 5件 ・リフォーム補助 5件				
備 考					